

1. 実況上の着目点

① 非常に強い台風第10号が、奄美の東海上を発達しながらゆっくり西北西進。台風周辺からと太平洋高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となっており、南西諸島と西～東日本の太平洋側では、雷を伴った1時間20mm以上の強い雨、局地的に1時間40mm以上の激しい雨を解析。雷を多数検知。また、奄美地方と西～東日本太平洋側では、うねりを伴った波が高く、奄美地方では猛烈なしけとなっている所がある。

② 前線が日本海から北日本を通り、千島近海にのびている。前線に向かって①の暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となっており、北海道地方では、1時間20mm以上の強い雨を解析。雷を多数検知し、秋田沖でメソサイクロンを検出。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の台風は、発達しながら北西進。その後、北に向きを変えて北上し西日本に接近する。この台風の影響により、奄美地方と西日本では、猛烈な風が吹いて、波が高くなり、うねりを伴った猛烈なしけとなる所がある。29日にかけて暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒。また、台風本体や外側の発達した対流雲がかかり、奄美地方と西日本及び東日本の太平洋側では、雷を伴って非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。29日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。奄美地方は高潮にも厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。特に、奄美地方や九州南部では28日にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。なお、台風の動きが遅いため、猛烈な風や猛烈なしけとなる時間が長くなり、総雨量が多くなるおそれがあることに留意。

② 1項②の前線や1項①の暖かく湿った空気の影響により、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる所がある。また、前線周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くしけとなる所がある。北日本では29日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。台風については、最新の台風情報を参照。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(18時からの24時間)：奄美400、九州南部300、東海200、東北・四国120、北海道・関東甲信・近畿・九州北部100mm。②波浪(明日まで)：九州南部・奄美10、四国・九州北部・沖縄5、北海道・東海・近畿4、東北3m。③高潮(明日まで)：奄美地方では警報基準を、北陸地方と近畿地方では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第10号に関する情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図